やまびこ

題字　蔦　文也

第66号
徳島県立池田高等学校
桜陵会 近畿支部
奈良市富雄元町
1−5−28−203（谷内方）
TEL・FAX(0742)51-0155

第38回近畿支部定期総会開催
役員改選される

総会に参加されたみなさん

第38回近畿支部定期総会が、平成27年7月19日（日）にホテルアウィーナ大阪で開催されました。

来賓に眞鍋和三郎桜陵会本部会長（昭46卒）、秋田忠昭徳島支部監事（昭23卒）、本年4月より赴任された結城孝典池田高校校長、黄田隆史徳島県大阪本部副本部長をお迎えし、総勢34名の参加者でした。

川原達夫さん（昭47卒）の司会により、物故者に黙祷をささげ、谷内支部長（昭38卒）の挨拶に続き、来賓の皆様からご祝辞を頂戴しました。

来賓の皆様からは台風11号による被害状況、各支部の会員減少と高齢化、市内の高等学校再編、探究科の卒業生の進路、大歩危世界ラフティング大会開催決定、人口ビジョンとして現在76万人の県の人口は2060年には41万人に減少するなどの話題が提供されました。

その後、井上美治さん（昭41卒）を議長に選出し議事の審議に入り、平成26年度活動報告並びに会計・監査報告があり、質疑で財政改善の意見がありました。続いて平成27年度活動報告（案）が承認可決された後、任期満了による役員改選が行われました。

役員選出方法は事務局一任となり、予め用意されていた役員改選案が提示され、承認可決されました。（別掲「役員の紹介」参照）

今回の改選で副支部長の吉岡繁満さん（昭35卒）、理事の富永泰行さん（昭35卒）が退任し、新しく佐竹勝久さん（昭42卒）が理事に就任致しました。

また、田邊光江さん（昭33卒）が副支部長に、浦泉洋志さん（昭37卒）と鈴木宣康さん（昭49卒）は監査役に異動となりました。

休憩の後、「やまびこのつどい」は森上修さん（昭30卒）の乾杯のご発声により懇親会が始まり、余興として、松原信太郎さん（昭33卒）のバイオリン演奏や國金達さん（昭42卒）の司会による「やまびこのど自慢」で会は盛り上がりました。

最後は、石川元信さん（昭25卒）の万歳三唱で閉会となりました。

＊＊＊＊＊

【訂正】

前号の写真説明で「第37回総会会場」とあるのは、「第33回」の誤りでした。（事務局）

【役員の紹介】

支部長　谷内秀美（昭38卒）再任

副支部長　田邊光江（昭33卒）異動
小西滋美（昭35卒）再任
華本数則（昭42卒）再任

理事　井上美治（昭41卒）再任
岡上妙子（昭41卒）再任
國金達（昭42卒）再任
佐竹勝久（昭42卒）新任
川原達夫（昭47卒）再任
内田千恵美（昭49卒）再任
宮内仁一（昭61卒）再任
吉田倫子（平10卒）再任

監査役　浦泉洋志（昭37卒）異動
鈴木宣康（昭49卒）異動

会計　吉田倫子（平10卒）再任

事務局長　華本数則（昭42卒）再任

顧問　伊丹幸典（昭26卒）再任
堀三芳（昭26卒）再任
井上恵（昭28卒）再任
森上修（昭30卒）再任

【新役員の挨拶】

佐竹勝久（昭42卒）

7月の支部総会で役員に選任されました。微力ではありますが本会の発展に努める所存ですのでよろしくお願い致します。

本会に参加をして感じるのですが、高齢化が進んでおり、若者の参加も少なく寂しい思いです。

皆さん、総会や行事にぜひ一度参加してみてはいかがでしょうか。懐かしい顔や話題にきっと出会えますよ。期待しております。（宇治市在住）

池高だより

桜陵会事務局
岡久展子

近畿支部の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。日頃は池田高校に温かい応援のお気持ちをいただき誠にありがとうございます。

今年度、本校は徳島県教委主催「NIPPON探究スクール事業」の実施校に選定され、探究科1年生が「明治から昭和初期の養蚕・製紙をテーマに徳島の政治経済について探究する」という学習活動に取り組んでいます。

1年目の今年は当時の養蚕・製糸業に関する時代背景を学びつつ、実際に蚕百頭を飼育し、昔ながらの糸車を回して千3百匁の生糸をとりました。これから2年目に向けてさらに調査や実験を重ねていく予定です。

学習や部活動、学校行事などの様子は本校ホームページでも随時お知らせしていますので、ぜひご覧ください。先輩の皆様によい報告ができるよう努力して参ります。

今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

（11月6日記）

伊月神社の銀杏

一陽会会員　大東明宏（昭52卒、神戸市垂水区在住）

池高時代の親友から、「自分の思い出の木を描いてほしい」とリクエストがあり、足代に行った。

小さな社の横に驚くほどの大木がそびえ、その枝ぶりも見事だった。この木が黄金色になる季節に来てみたいと切に思いながら筆をとった。

平成27年6月27日

平成26年度 決算報告書

（自）平成26年4月1日
（至）平成27年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
年会費	709,200	総会関係費	249,516
総会会費	251,000	新年会関係費	116,000
新年会会費	152,000	本部関係費	54,530
広告料	24,000	『やまびこ』関係費	539,240
雑収入	1,330	『やまびこ』郵送費	308,907
寄付金	54,600	事務通信費	39,501
受取利息	47	諸会議費	17,000
年会費充当	48,708	慶弔費	62,261
前期繰越金	179,164	口座振込手数料	33,094
合計	1,420,049	合計	1,420,049

繰越金明細
①資産現金　54,504円
定期預金／郵便局　1,000,000円
普通預金／郵便局　379,988円
計　1,434,492円
②負債　年会費預り金　1,483,200円
差引繰越金 ①−②　▲48,708円

平成27年6月27日
上記の通り報告いたします。　会計　吉田倫子㊞
監査の結果、上記の通り正確なことを認めます。
監査役　吉岡繁満㊞

折々のニュースはホームページをご覧ください。
URL http://www.h7.dion.ne.jp/~kinkisib

新年互礼会のご案内

日時　1月24日(日) 11時30分〜14時
（受付は11時から）
場所　北京料理「徐園」
（大阪市西区）
会費　7,000円（女性6,000円）
参加申込みは、事前に事務局まで。

■会費納入ありがとうございました

会員各位には、当会運営にご協力を頂き誠に有り難うございます。

当紙面では、複数年会費納入者のお名前を掲載させて頂いております。

今後ともご協力、ご支援をお願い申しあげます。

年会費　1200円
5年会費　6000円
10年会費　12000円

（平成27年4月〜9月末までの納入者）

◎10年会費納入者（敬称略）
延原孝明（25）　小川武（31）
松田淳次（47）　中村文枝（49）
松尾勝代（59）

◎5年会費納入者（敬称略）
川西大吉（25）　瀬尾清子（32）
森隆子（33）　宮脇孝子（33）
岡田美代子（35）　西尾恭典（36）
江口由哲（36）　高橋恵子（36）
森梨枝（36）　清水恒俊（37）
石田一枝（38）　荻原恵美（40）
今津潤子（40）　松本紀美代（42）
阪田敬子（43）　中川恵美子（43）
桑地秦信（44）　松根頼明（44）
佐々木潤子（44）　田埜晴士（47）

◎1年会費納入者は32名

※会報「やまびこ」は、皆様方の会費で発行しています。会費納入者が少なくなり、平成26年度決算報告では単年度赤字（年会費充当）となりました。会費未納者は、本年度分より納入をお願い申しあげます。

年会費のお問い合わせは、会計・吉田まで（☎090−3652−6102）

封筒の宛先にある数字の見方

〒574-0000
大阪市○○区○○町
池田花子様
27 − 44

上記左の27は平成27年までの会費を納入済みという意味です。右44は卒年です。

人物歳時記

豊かな実り　須丸忠由さん

須丸さんの心境にぴったりの言葉がある。ある起業家の「撒いた種のように花が咲き、実をつける。人生もまさにその通りだ」と★須丸さんの種蒔きの時代、それは池高時代にあるという。中学卒業で就職するのがごく普通だった時代、夜間高校に通うことを条件で池田町のある会社に入社した。その制度を知らなかった同期入社の十二、三人は会社から許されず、たった一人夜間部に通うのは大変だったという。嫉妬と羨望の渦にまみれながら何度も挫折しそうになったが、「思うように勉強ができなくてもいい。とにかく通い続けることに意味がある」と励ましてくれた先生のおかげだという★卒業後、京都の支社に配属され、トラックの運転ができるという特技を活かして、当時、創設された京都ナショナル販売会社に転職。十八年後、周りの人の応援で、電気通信工事を主とする「京放（きょうほう）」を立ち上げて現在に至っている。いろんな資格取得には高卒以上の条件が必ずついてくる事や、母校が甲子園で活躍する喜びに涙しながら、池高卒でよかったとしみじみ思う★二十八歳で結婚。京大工学部卒、工学博士の息子さん。同志社英文科卒、教師の娘さん。六人の孫。会社は娘さんのご主人に譲られ、若い頃からの趣味の狩猟、七十歳から始めた本格的な登山、元気溢れる須丸さんである。

昭和31年卒、山城町出身、京都市在住。【文・眞野春美】